

## 中学校社会科（歴史的分野）学習指導案

### 単元名

横浜大空襲から見た、第二次世界大戦下の人々の暮らし

### 内容のまとめり

C 近現代の日本と世界

(1) 近代の日本と世界 (カ) 第二次世界大戦と人類の惨禍

### 1 単元目標

- ・ 当時の人々の日記や記録からの戦争の実態の理解を通して、太平洋戦争が国家と国民を総動員して戦う総力戦であったことを理解する。
- ・ 様々な資料から、国民生活が窮乏して自由が失われるなど、厳しさを増していく状況について、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・ 戦争中の国民生活に関心をもち、当時のようすを示した横浜市史資料室の展示物の見学や、戦争体験者の話を通じ、主体的に調査しようとする態度を養う。

### 2 単元を通して身に付けさせたい資質・能力

本単元では、横浜市史資料室の写真資料などを通して、具体的にかつ視覚的に確認させる。また、米軍による伝単を導入教材として、太平洋戦争中に行われた米軍による日本への本土空襲の被害について理解し、平和の意義について考えさせる。

### 3 実践計画の概要

#### (1) 単元評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</p>	<p>・ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・ 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>・ 横浜大空襲を記録した写真資料を通じて、軍部の台頭から戦争までの経過と、戦時下の人々の生活に及ぼした影響と米軍の空襲のねらいを理解している。</p>	<p>・ 横浜大空襲を記録した写真資料に着目して、戦時下の人々の暮らしと、米軍の空襲のねらいを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・ 横浜大空襲を記録した写真資料を基に、戦時下の人々の暮らしと、米軍の空襲のねらいをよりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

## (2) 指導と評価の計画 [2時間扱い]

学習活動と内容 (時間数) 2時間	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
<p><b>1 戦時下の暮らし</b></p> <p>写真資料から、戦時下の暮らしについて理解する。</p> <p>横浜に関連する資料を通して、身近な問題としてとらえる。</p> <p>学童疎開の様子について理解し、本土空襲について理解する。</p>	<p>◇国家総動員体制下の国民生活について理解させる。</p> <p>◆『民間金属類特別回収』</p> <p>◆『出兵兵士の歓送風景』</p> <p>◆マンガ絵葉書『入団』</p> <p>◆『女学生動員』</p> <p>◆『保護者に見守られ出発する子どもたち』</p>
<p><b>2 横浜空襲</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本時</span></p> <p>米軍がばらまいた伝単を読み取り、ビラの意図を読み取る。</p> <p>空襲時の上空写真から、横浜大空襲の被害が大きかった地域はどこかを読み取る。</p> <p>体験者の日記などを読み、当時の様子を理解する。</p>	<p>◇ビラの内容を読み取らせ、米軍の意図を理解させる。</p> <p>◆『米軍伝単』</p> <p>◇空襲時の様子から、煙の上がる場所・上がらない場所があることに気づかせる。</p> <p>◆上空写真『一斉に煙を吹きはじめた横浜』</p> <p>◆『山下町付近の焼け跡』</p> <p>◆『空襲後の京浜工業地帯』</p> <p>◆荒井力三さん・白木征二さんの体験記</p>

### 4 本時目標

- ・横浜市史資料室の資料から、日本やアメリカの意図を米軍の空襲のねらいを多面的・多角的に考察し表現する。
- ・横浜市史資料室の展示物を見たり、戦争体験者の話を聴いたりするなどの活動を通して、当時の様子を主体的に追究しようとする態度を養う。

### 5 本時展開

主な学習活動と内容	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
-----------	------------------------

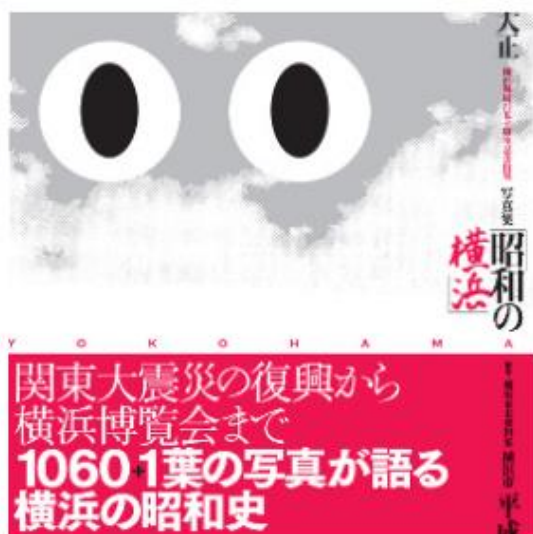
<p>・米軍伝単の内容を読み取る。</p> <div data-bbox="135 459 699 772" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される生徒の反応】</b>  S：「伝単」には、戦争をやめるよう国民に訴えている。  S：「伝単」を配っているのは、日本政府ではなく、アメリカだ。</p> </div>	<p>◆『焼夷弾を投下する B29 の編隊』</p> <p>◇資料を通して、伝単について理解させ、どのような方法でこれらがまかれたのかを考えさせる。</p> <p>◇米軍によってまかれた伝単の目的にきづかせる。</p> <p>◇B29 から投下されたのは、伝単だけでなく焼夷弾もあったことを説明し、1945（昭和 20）年 5 月 29 日に横浜大空襲があったことを理解させる。</p> <div data-bbox="742 526 1348 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【発問例】</b>  T：「伝単」にはどんなことが書かれているでしょうか。  T：「伝単」を配っているのは誰でしょうか。</p> </div>
<p>・空襲時の上空写真を見る。</p> <div data-bbox="135 1146 699 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される生徒の反応】</b>  S：建物が多く、人が多く生活している所かな。</p> </div>	<p>◆上空写真『一斉に煙を吹きはじめた横浜』</p> <p>◇煙のあがっている場所、上がっていない場所があることに気づかせる。</p> <p>◇空襲のねらいが、住宅地・工業地域・商業地域がどのように燃えていくのかデータ収集にあり、実験的攻撃であったことを理解させる。</p> <div data-bbox="742 1146 1375 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【発問例】</b>  T：横浜大空襲で一番被害が大きかったところはどこでしょうか。</p> </div>
<p>・体験記を読む。</p>	<p>◆荒井力三さん・白木征二さんの体験記</p> <p>◇体験記を通して、当時の悲惨な様子を具体的に読み取らせる。</p> <p>◇空襲を受けて、人々の辛い心情や戦争に対する考えを読み取らせる。</p>



◎空襲パネルセット(写真で見る横浜大空襲)

- ・『自宅前に激励される出征兵士』
- ・『米軍伝単』(横浜市史所蔵空襲資料 5630-1)
- ・マンガ絵葉書『入団』(横浜市史所蔵空襲資料 5602)
- ・荒井力三さん・白木征二さんの体験記

◎写真集「昭和の横浜」(開港150周年記念出版)より



『女学生動員』森永食糧工場で働く  
神奈川県立横浜第一高等女学校の生徒



『西区平沼町の栗原運送店前の出征風景』



『山下町付近の焼け跡』



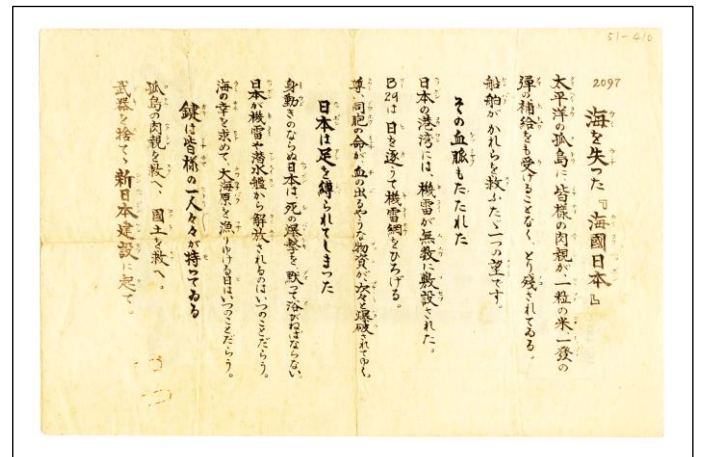
『空襲後の京浜工業地帯』

『保護者に見守られ出発する子どもたち』



鶴見区 潮田国民学校

『伝単』・・・戦意喪失させるためのアメリカ軍によるプロパガンダで、多くのビラが全国大都市に撒かれた。ここに取り上げたもの以外にも様々な内容の伝単が横浜市史資料室に保管されている。



1944（昭和19）年12月から1945（昭和20）年8月まで、横浜は29回の空襲を受けた。中でも、1945（昭和20）年5月29日の横浜大空襲では、多くの死傷者を出し、中心部は焼け野原となった。

小・中学校では、歴史学習で戦時中の生活や横浜大空襲について学習する。当時の人々の思いに共感できるよう、具体的な資料を通して学ばせたい。

横浜市ふるさと歴史財団では、当時の様々な生活用具や戦時中の生活や空襲を記録した写真・日記などを保存し、また企画展などで活用している。

2019（令和元）年5月には「横浜市域に遺る戦争の蹟」パンフレットを各校に配布した。またショップにて100円+税でも販売しており授業に際して必要な資料を提示することも可能である。ぜひ活用していただきたい。